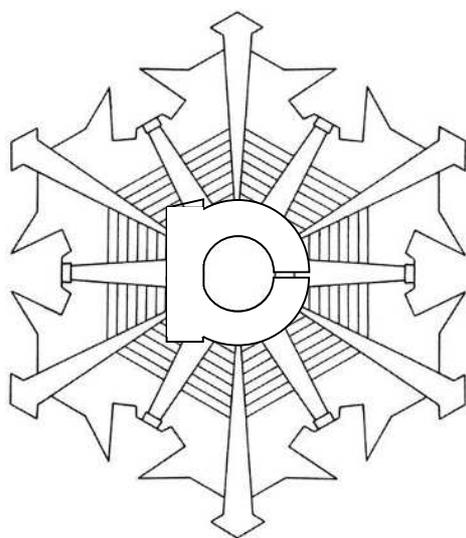


消防年報

令和4年度



第 4 7 号

幸 田 町 消 防 本 部

幸田町民憲章

わたくしたちは、心ゆたかな住みよいまちづくりをめざし、ここに町民憲章を定めます。

- 一、緑豊かに、水清らかに、みんなで美しいまちをつくりましょう。
- 一、ありがとう、いつも笑顔で親切の輪を広げましょう。
- 一、活気と希望に夢みちた、若い力を育てましょう。
- 一、スポーツに親しみ、心身を鍛え、健康なまちをつくりましょう。
- 一、豊かな知識と教養を高め、文化の向上に努めましょう。

昭和五十七年一月十四日制定

はじめに

この年報は、幸田町の消防の現況と令和4年度及び

令和4年中における火災予防、消防活動のあらましを

まとめたもので、消防の現況を御理解いただくとともに、

今後の消防行政の効率的な運営に役立てることを目的と

して編集しました。



幸田町マスコットキャラクター
エコたん

令和5年7月

幸田町消防本部

庁舎施設概要

庁舎

敷地面積	5,641.32㎡
建築構造	鉄骨造2階建
建築面積	1,624.71㎡
延床面積	2,323.87㎡
1階	1560.62㎡
2階	763.25㎡
竣工	平成17年7月1日

設備

電気設備
高圧受電設備
太陽光発電設備
自家発電設備
空調設備
電気空調／エアコン（個別空調）



〒444-0113

愛知県額田郡幸田町大字菱池字前田41番地1

TEL	消防本部	(0564) 63-0119 (代表)
	庶務課	(0564) 63-0514
	予防防災課	(0564) 63-0513
	共同通信課	(0564) 21-9896
FAX	消防署	(0564) 63-0512
	庶務課	(0564) 63-1189
	予防防災課	同上
E-mail	消防署	(0564) 63-1119
	庶務課	kotasyobo@town.kota.lg.jp
	予防防災課	kota-119@town.kota.lg.jp
	消防署	syobo-fd@town.kota.lg.jp

目 次

幸田町勢

幸田町のあらまし	1
沿革	2
幸田町のうつり変わり	3
人口動態	4

消防現勢

消防の沿革	5
消防現勢及びポンプ配置場所	1 2
出場から各地区到着までの平均所要時間	1 3
町の一般会計歳出予算総額に対する消防費の比率	1 4
人口1人当たり消防費	1 4
活動内容	1 5
消防組織編成	1 7
消防職員配属状況	1 7
消防本部（署）階級別人員	1 8
消防職員勤務年数状況	1 8
消防職員階級別年齢	1 9
消防職員教養実施状況	2 0
消防職員資格取得状況	2 1
消防本部（署）車両	2 2
消防水利施設	2 2

予防統計

防火対象物	2 3
分団別建築申請戸数	2 4
地区別建築申請戸数	2 4
火災予防条例等関係諸届出件数	2 4
危険物施設状況	2 5
危険物関係手数料収入	2 5
危険物承認・届出関係	2 5
幸田町危険物安全協会の沿革	2 6
幸田町危険物安全協会業態別会員数	2 6
自主防災組織・各クラブ人員	2 6

通信・気象統計

月別災害受信件数	2 7
年別災害受信件数	2 7
月別気象統計	2 8

月別降雨量統計	2 8
月別風速	2 8
月別風向	2 8
月別平均気温・湿度	2 9
月別降雨量	2 9
風向	2 9
火災統計	
火災概要	3 0
火災 1 件当たりの概要	3 1
月別火災件数損害額	3 1
時間別・火災件数	3 2
火災の出火原因	3 2
火災記録	3 2
最近 1 0 年間における年別出場件数	3 3
救急・救助統計	
事故別出場件数及び搬送人員	3 4
月別出場件数及び搬送人員	3 5
時間帯別出場件数及び搬送人員	3 6
曜日別出場件数	3 7
年齢区分別及び傷病程度別搬送人員	3 7
地域別出場件数	3 7
最近 1 0 年間における年別出場件数及び搬送人員	3 8
事故別出場件数及び救助人員	3 9
最近 1 0 年間における年別出場件数及び救助人員	4 0
消防団	
消防団現勢	4 1
消防団員階級別年齢	4 1
消防団員在籍年数	4 2
業態別消防団員構成	4 2
消防団車両	4 3

幸 田 町 勢

幸田町のあらまし

○ 位置

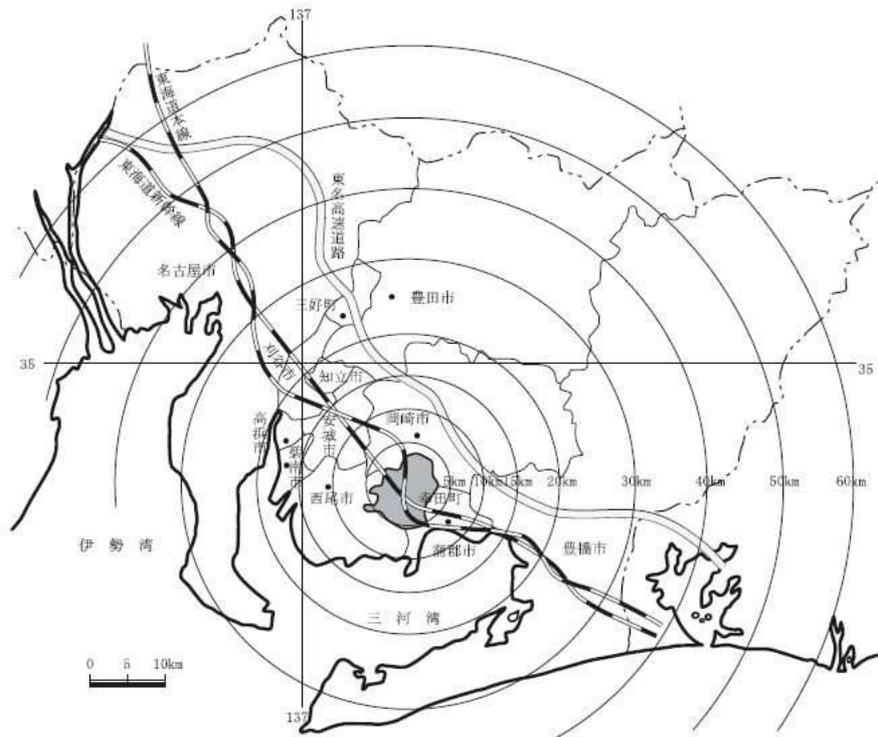
東端 東経 137° 12' 43" 北緯 34° 52' 04"
西端 東経 137° 06' 03" 北緯 34° 51' 00"
南端 東経 137° 09' 49" 北緯 34° 48' 54"
北端 東経 137° 10' 37" 北緯 34° 54' 35"
東西 10.25 km 南北 10.55 km

幸田町は中部圏の中核都市名古屋市から45km圏内にあり、町の中央部を南東から北西にかけ東海道新幹線が通過しており、南北に東海道本線と国道248号がそれぞれ縦貫し、蒲郡の臨海工業地帯と岡崎・豊田の内陸工業地帯を結ぶ交通の要衝となっている。JR幸田駅を中心に市街地を形成しJR相見駅(平成24年開業)付近では商業施設や住宅の建設が進んでいる。

○ 地形

町の西部と東部に領家変成岩からなる300~400mの低地山地があり、中間に拾石から菱池にかけてほぼ南北方面の低地帯が存在し、狭益部を形成している。この低地帯の北部にはかつての菱池が存在し、古くは三河湾の湾入時代としていたことを示す遺跡が周辺に分布する。低地帯の東部で低地山地との間に50~100mにおよぶ洪積台地が展開している。

低地帯は水田、台地は畑地、山地は森林・果樹園に利用され、集落は台地端に多く立地している。



沿 革

本町における人間居住の歴史は古く、弥生時代にはすでに旧菱池沼のまわりの台地に集落を形成していたと推定され、一方東方洪積台地には5～7世紀の古墳郡古代中世の古窯跡がみられ、須恵器を始め陶器の生産などの行われた地域が存在し、人間居住の古いことを示している。

三河郡史によれば、応仁の乱以来各地に群雄割拠し、三河国本町においても幾人もの小領主によっておさめられていた独立村等であったと記されている。寛永から明治以降の時代の流れは行政区画も変わり廃藩置県そして郡区町村と編成が変転し、本町の東半分は額田郡十三ヶ村が西半分は幡豆郡八ヶ村が位置していた。その後明治39年には額田郡広田村と幡豆郡豊坂村の二ヶ村になった。

(1) 萌芽期

明治41年9月、東海道本線幸田駅が開設してそれと同時に広田村が幸田村に改名、駅付近には、商店および住居が立ちならび商店街形成の第一歩となった。

(2) 拠点形成期

昭和9年1月、愛知県織物株式会社幸田工場の進出により人口も増加し、街も活気を帯びるようになった。

(3) 兵器産業進出期

昭和17年4月、大東亜戦争により、大日本兵器株式会社が進出し、繊維産業から兵器産業に転換した。

(4) 工業化進展期

終戦により昭和21年6月再び兵器産業から繊維産業となり、昭和29年8月1日駅勢圏・商圏で幸田の圏域内に含まれる幡豆郡豊坂村が合併、現在の町域となった。

その後社会経済の進展により町内各所に中小企業の進出。昭和38年8月、町の中央を東海道新幹線が開通し幸田南部地区開発を目的に、昭和42年3月東海道本線三ヶ根駅が開設され、この地域周辺の開発拠点となった。

昭和42年3月、幸田駅西へ県企業庁による241,300㎡の工業団地が完成、昭和47年3月同じく357,000㎡の工場団地が坂崎地区に完成し、企業が進出しており続いて昭和61年3月芦谷地区に360,000㎡の中部工業団地が完成、平成3年9月には304,000㎡の長嶺地区工業団地が完成し、活力ある明日のために着実に進展しております。

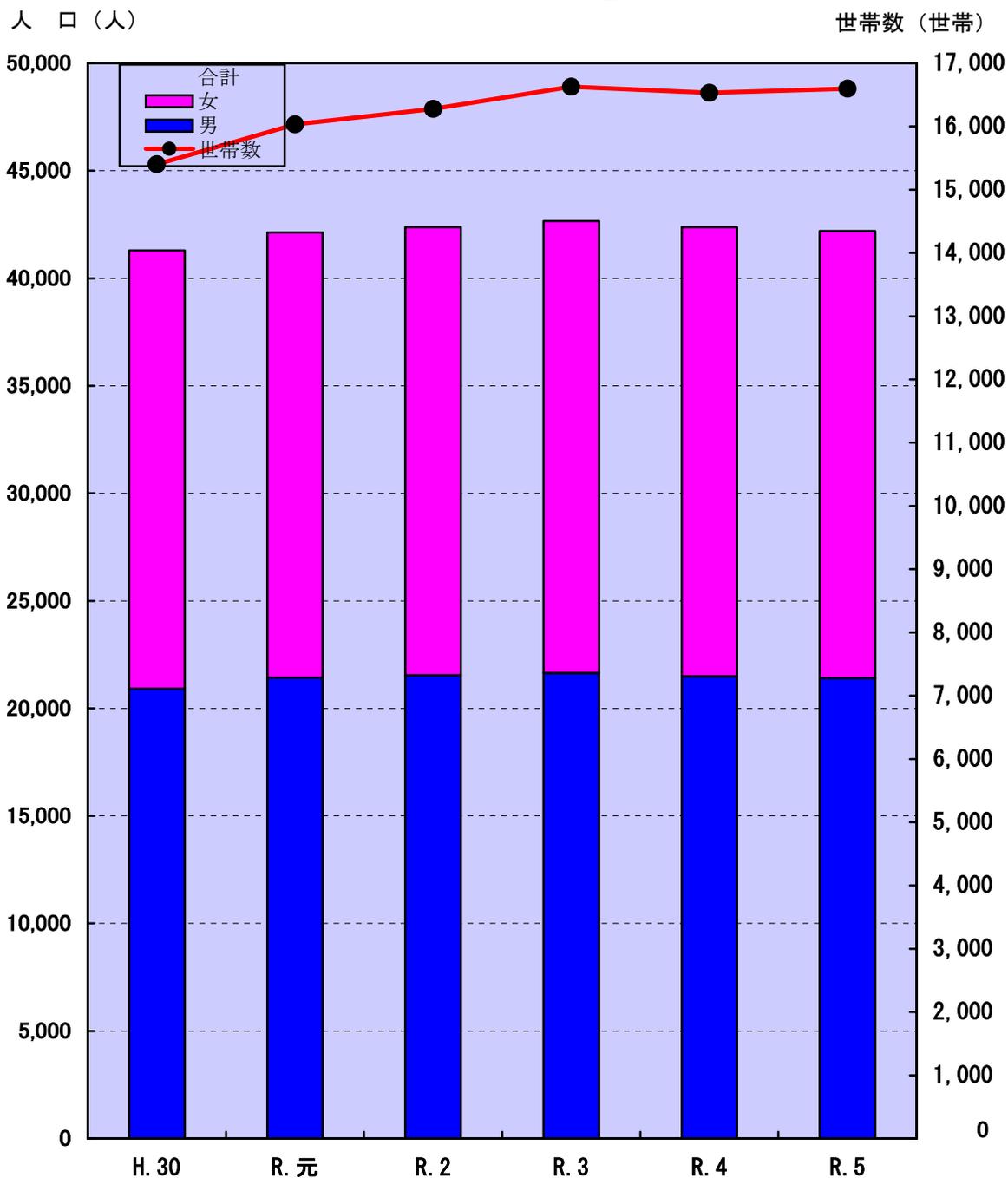
平成15年に六栗地区、平成19年から須美地区に自動車関連の企業を中心とし、電子機器、医薬品製造業の多彩な業種の誘致を行っており、安定した税収の確保はもとより、定住人口増加、雇用機会の創出、関連産業の集積など、地域経済等の活性化を図っている。

(5) 市街地形成期

平成24年3月東海道本線相見駅が開設され、本町はJR幸田駅、相見駅、三ヶ根駅、周辺市街地にハピネス・ヒル・幸田周辺の地域交流拠点を加えた4つの都市核（3駅プラス1）を都市づくりの骨格としてコンパクトでまとまりのある市街地形成を計画的に誘導している。

また、国道248号を南北基幹軸、国道23号（名豊道路）を東西基幹軸と位置づけ、4つの都市核ならびに周辺市街地、集落地、工業地などの都市機能を有機的に結びつける道路網の整備を進めている。

人口動態



各年4月1日

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
合計 (人)	41,296	42,126	42,430	42,658	42,371	42,191
男 (人)	20,918	21,422	21,568	21,641	21,485	21,410
女 (人)	20,378	20,704	20,862	21,017	20,886	20,781
世帯数 (世帯)	15,404	16,034	16,344	16,627	16,532	16,597

消防現勢

消 防 の 沿 革

昭和 22 年	幸田町警防団を消防団に改革
昭和 29 年	豊坂村と合併し、幸田町消防団に改組 (9分団制 233 人)
昭和 30 年	少年消防クラブを発足
昭和 33 年	消防団を 4 分団制に改定
昭和 38 年	消防団へ消防車 4 台、三輪ポンプ自動車 5 台を整備 (日本消防協会から表彰旗授与)
昭和 40 年	幸田町役場職員により消防団準常備部 (10 人) を発足
昭和 41 年	消防団員の定数を 183 人に改定
昭和 46 年	消防団第 1 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 47 年	消防団第 4 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 48 年	消防団第 3 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 49 年	消防団第 2 分団第 1 部の消防車を更新
昭和 50 年	幸田町役場職員により幸田町救急隊を発足 (11 月 1 日) 救急車 1 台 (愛知県共済農業協同組合連合会寄贈) を配備 消防団第 1 分団第 2 部・第 4 分団第 2 部へ小型ポンプ積載車を配備
昭和 51 年	消防団員の定数を 169 人に改定、準常備部を解散 (9 月 1 日) 幸田町消防本部 (庶務係、予防係、警防係) 及び消防署を設置 職 員 : 19 人 消防車 : 2 台 (消防団更新車両充当) 救急車 : 1 台 指令車 : 1 台 広報車 : 1 台 消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部へ小型ポンプ積載車を配備
昭和 52 年	消防職員 8 人を採用 (総員 26 人) 第 22 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 2 分団が入賞 幸田町危険物安全協会を設立 (会員 54 事業所)
昭和 53 年	消防団員の定数を 147 人に改定 消防車「火災保険幸田号」(幸田 3) を配備 (日本損害保険協会寄贈)

昭和 54 年 消防署第 1 係分隊を設置
消防職員 1 人を採用（総員 26 人）
可搬積載車（幸田 61・62）2 台を配備（石油貯蔵施設立地対策事業）
水槽付消防ポンプ自動車（幸田 1）を配備
石油貯蔵施設立地対策事業にて通産省より消防指令車（幸田 51）を配備
消防ラッパ隊を結成

昭和 55 年 消防職員 1 人を採用（総員 26 人）
資機材搬送車（幸田 5）を配備
救急車（救急幸田 2）を配備（日本損害保険協会寄贈）

昭和 56 年 消防職員 2 人を採用（総員 27 人）
消防用無線機（車載用 10W）を 1 台配備
携帯無線機（1W）を 3 台配備
石油貯蔵施設立地対策事業にて消防団第 3 分団第 2 部車庫を改築
Ⅱ型化学車（幸田 4）を配備

昭和 57 年 消防職員 2 人を採用（総員 29 人）
消防庁長官より竿頭綬を授与
第 27 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 4 分団が優勝

昭和 58 年 消防職員 1 人を採用（総員 29 人）

昭和 59 年 消防用無線機（固定可搬兼用型 10W）を 1 台配備
消防用無線機（消防団車載用 10W）を 8 台配備
広報車（幸田 52）を配備（日本消防協会寄贈）

昭和 60 年 消防署の第 1 係分隊長を第 1 係長に改定
消防職員 1 人を採用（総員 29 人）
幼年消防クラブを発足
幸田町危険物安全協会を額田郡危険物安全協会に改定

昭和 61 年 消防職員 1 人を採用（総員 30 人）
防災行政無線を設置（親局 2 局・子局 45 局）

消防署西車庫を新設
 消防団第1分団第1部の消防車を更新
 小型動力ポンプ付水槽車（幸田71）を配備
 救急車（救急幸田1）を更新
 昭和62年 消防職員定数条例を37人に改定
 消防職員1人を採用（総員31人）
 消防団第4分団第1部の消防車を更新
 消防通信室を増築
 第33回愛知県消防操法大会四輪の部で第1分団が入賞
 消防団第2分団第1部の車庫兼詰所を新設
 昭和63年 消防職員1人を採用（総員32人）
 気象観測装置を配備
 消防団第3分団第1部の消防車を更新
 平成元年 消防職員1人を採用（総員33人）
 消防団第2分団第1部の消防車を更新
 消防署南車庫を新設
 はしご付消防自動車（幸田31）を配備
 平成2年 消防職員3人を採用（総員36人）
 普通消防ポンプ自動車（幸田3）を更新
 消防団第1分団第2部・第4分団第2部の小型ポンプ積載車を更新
 平成3年 消防職員1人を採用（総員37人）
 消防団第4分団第1部の車庫兼詰所を新設
 消防団第2分団第2部・第3分団第2部の小型ポンプ積載車を更新
 予防査察車（幸田51）を更新
 救急車（救急幸田2）を更新
 平成4年 消防職員定数条例を44人に改定
 クレーン付資機材搬送車（幸田62）を配備
 第37回愛知県消防操法大会四輪の部で第2分団が入賞

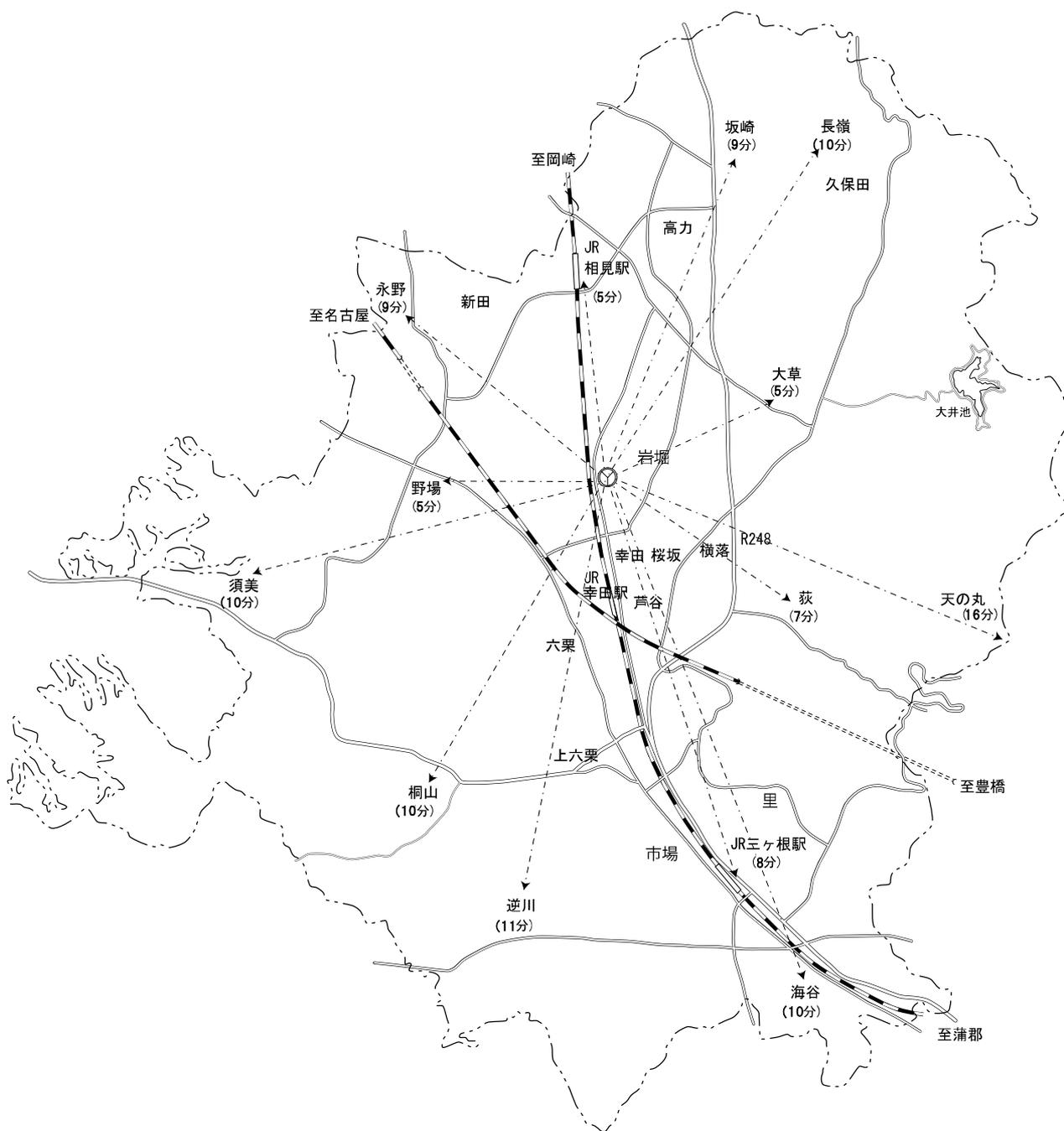
- 平成 5 年 消防職員 2 人を採用（総員 38 人）
水槽付消防ポンプ自動車（幸田 1）を配備（日本損害保険協会寄贈）
救助工作車（幸田 41）を配備
- 平成 6 年 消防職員 3 人を採用（総員 40 人）
指令車（幸田 52）を更新
- 平成 7 年 消防本部に消防課（庶務係、警防係、予防係）を設置
消防職員定数条例を 48 人に改定
消防職員 3 人を採用（総員 43 人）
兵庫県南部地震応援活動を実施（1 月 1 回、3 月 2 回、3 隊 9 人）
消防団第 1 分団第 1 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 8 年 消防職員 2 人を採用（総員 45 人）
広報車（幸田 55）を配備（愛知県共済生活協同組合寄贈）
資機材搬送車（幸田 61）を更新
消防団第 3 分団第 1 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 9 年 消防職員 2 人を採用（総員 46 人）
第 42 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 3 分団が準優勝
救急車更新に伴い、高規格救急車（救急幸田 1）を配備
救急救命士業務を開始
消防団第 1 分団第 2 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 10 年 消防団第 2 分団第 2 部の車庫兼詰所を新設
額田郡危険物安全協会を幸田町危険物安全協会に改定
- 平成 11 年 主幹制を導入
消防団第 4 分団第 2 部の車庫兼詰所を新設
- 平成 12 年 消防本部消防課に消防防災係を設置
- 平成 13 年 高規格救急車（救急幸田 3）を配備
（高規格車 2 台、2 B 車 1 台体制）
消防団第 1 分団第 1 部の消防車を更新
- 平成 14 年 消防団第 3 分団第 2 部の車庫兼詰所を改築

- 第 47 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 4 分団が入賞
- 平成 15 年 小型動力ポンプ付水槽車（幸田 71）を更新
クレーン付資機材搬送車（幸田 62）を更新
消防団第 3 分団第 1 部・第 4 分団第 1 部の消防車を更新
- 平成 16 年 消防職員 2 人を採用（総員 46 人）
小型動力ポンプ付水槽車（幸田 4）を更新
消防団第 2 分団第 1 部の消防車を更新
- 平成 17 年 消防庁舎を移転（7 月 1 日竣工）
高規格救急車（救急幸田 2）を配備（高規格車 3 台体制）
災害対応特殊ポンプ自動車（幸田 3）を更新
予防査察車（幸田 51）を更新
消防団第 1 分団第 2 部・第 4 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成 18 年 幸田町女性消防クラブを発足（総員 23 人）
指令車（幸田 52）を更新
資機材搬送車（幸田 61）を更新
消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を更新
防災遠視カメラを設置
防災備蓄倉庫を設置（深溝小学校）
- 平成 19 年 広報車（幸田 55）を更新
庶務連絡車（幸田 56）を配備
防災備蓄倉庫を設置（坂崎小学校）
消防署北倉庫を新設
第 52 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で第 1 分団が入賞
- 平成 20 年 消防本部消防課を庶務課・予防防災課の 2 課に改定
消防職員 2 人を採用（総員 46 人）
防災備蓄倉庫を設置（豊坂小学校）
水槽付ポンプ自動車（幸田 1）を更新

平成 21 年	救助工作車（幸田 41）を更新 防災備蓄倉庫を設置（荻谷小学校）
平成 22 年	消防職員 3 人を採用（総員 48 人） 高規格救急車（救急幸田 1）を更新 資機材搬送車（幸田 63）を配備 防災備蓄倉庫を設置（幸田小学校）
平成 23 年	消防職員定数条例を 50 人に改定 消防職員 3 人を採用（総員 49 人） 防災備蓄倉庫を設置（中央小学校） 東北地方太平洋沖地震で緊急消防援助隊活動を実施 （消火隊：1 隊、後方支援隊：5 隊、計：14 人）
平成 24 年	消防職員 4 人を採用（総員 50 人） はしご車（幸田 31）を整備 第 57 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で第 2 分団が 3 位入賞
平成 25 年	消防職員定数条例を 60 人に改定 消防職員 4 人を採用（総員 53 人） 再任用職員 1 人を採用（総数 1 人） 防災行政無線をデジタル化に更新 （基地局・屋外子局 69 局、移動系無線局 50 局、戸別受信機 103 局） 高規格救急車（救急幸田 3）を更新
平成 26 年	消防職員 4 人を採用（総員 55 人） 再任用職員 1 人を採用（総数 1 人） 御嶽山噴火で緊急消防援助隊活動を実施 （後方支援隊：1 隊、計：2 人） 防災備蓄倉庫を設置（幸田中学校）
平成 27 年	消防職員 2 人を採用（総員 54 人） 再任用職員 1 人を採用（総数 1 人） 防災備蓄倉庫を設置（南部中学校） 消防救急無線をデジタル化に更新 消防庁舎に太陽光発電設備を整備

平成 28 年	<p>消防職員 5 人を採用（総員 55 人） 嘱託員 1 人を採用（総数 1 人） 防災備蓄倉庫を設置（北部中学校） 消防団第 2 分団第 1 部の車庫兼詰所を新設</p>
平成 29 年	<p>消防職員 4 人を採用（総員 56 人） 再任用 1 人を採用（総数 1 人） 高規格救急車（救急幸田 2）を更新 第 62 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で 7 位入賞</p>
平成 30 年	<p>消防職員 2 人を採用（総員 59 人） 再任用 1 人を採用（総数 2 人） 岡崎幸田消防指令センターの共同運用を開始 西日本豪雨で緊急消防援助隊活動を実施 （救急隊：1 隊、計：3 人） 防災備蓄倉庫を設置（幸田高校） 火災調査車（幸田 51）を更新</p>
令和 元年	<p>消防職員 2 人を採用（総員 59 人） 消防ポンプ自動車（幸田 3）を更新 町内コンビニエンスストアに A E D（自動体外式除細動器）を設置</p>
令和 2 年	<p>消防職員定数条例を 70 人に改定 消防職員 4 人を採用（総員 59 人） 本町初の女性消防吏員を採用 消防ポンプ自動車（幸田 4）を更新 消防 PR 動画を作成（消防団加入促進事業）</p>
令和 3 年	<p>消防職員 6 人を採用（総員 63 人） 連絡車（幸田 54）を配備 資器材搬送車（幸田 63）を更新 防火パトロール車（幸田 53）を更新（愛知県共済生活協同組合寄贈） 消防団第 3 分団第 1 部の消防車を更新 熱海市伊豆山土石流災害で緊急消防援助隊活動を実施 （後方支援隊：1 隊、計：2 人）</p>
令和 4 年	<p>消防職員 3 人を採用（総員 65 人） 第 67 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で 9 位入賞 防災備蓄倉庫を設置（相見駅、三ヶ根駅）</p>

出場から各地区到着までの平均所要時間



※消防本部を起点として、令和4年の救急出場事案から平均到着時間を算出する。

町の一般会計歳出予算総額に対する消防費の比率

区分 年度別	町の一般会計歳出 予算額（当初） （千円）	消防費（当初） （千円）	総予算に対する比率 （％）
平成30年度	15,520,000	601,924	3.9
令和元年度	16,460,000	622,539	3.8
令和2年度	17,660,000	710,280	4.0
令和3年度	18,020,000	687,157	3.8
令和4年度	19,400,000	752,323	3.9

人口1人当たり消防費

区分 年度別	消 防 費 （ 当 初 ）					人 口 1 人 当り額 （円）	人 口 （年度当初） （人）
	総 額 （千円）	常 備 消防費 （千円）	非常備 消防費 （千円）	施設費 （千円）	災害 対策費 （千円）		
平成30年度	601,924	488,862	39,944	33,069	40,049	14,576	41,296
令和元年度	622,539	499,798	43,473	46,957	32,311	14,778	42,126
令和2年度	710,280	539,608	46,372	86,550	37,750	16,740	42,430
令和3年度	687,157	510,877	43,472	98,407	34,401	16,109	42,658
令和4年度	752,323	607,544	60,440	55,094	29,245	17,756	42,371

活動内容

令和4年度

4月	1日	職員辞令交付式	
	2日	消防団辞令交付式	(あじさいホール)
	3日	消防団幹部視察研修	
	6日	愛知県消防学校 初任科入校3人	(4/6~9/22)
	9日	女性消防クラブ総会	
	10日	消防団初訓練	
	10日	第67回愛知県消防操法大会幸田町消防団決起集会	
	15日	愛知県消防長会総会	(江南市)
	15日	愛知県消防職員意見発表会 最優秀賞	(江南市)
	24日	消防団新入団・幹部訓練	
	27日	全国消防長会東海支部総会	(蟹江町)
	27日	全国消防長会東海支部消防職員意見発表会 優秀賞	(蟹江町)
5月	9日	救急救命九州研修所 感染防止対策強化研修入所1人	(5/9~5/13)
	20日	幸田町危険物安全協会総会	
6月	1日	愛知県消防学校 救急科入校4人	(6/1~7/22)
	2日	水難救助訓練	
	5日	消防団春の総合訓練	
	6日	消防協力者表彰	
	7日	第74回全国消防長会総会	
	7日	高校生職場見学 (幸田高等学校)	
	9日	水難救助訓練	
	9日	中学生職場体験学習 (南部中学校)	
	10日		
	16日	水難救助訓練	
	19日	岡崎市矢作消防団との操法合同訓練	
	23日	令和4年度第1回幸田町緊急消防援助隊等受援訓練	
	26日	第67回愛知県消防操法大会幸田町消防団出場選手壮行会	
	27日	消防救助技術消防署内選考会	
7月	10日	第67回愛知県消防操法大会出場選手二十日会激励会	
	26日	愛知県消防学校 はしご自動車等運用科入校1人	(7/26~7/28)
	30日	第50回消防救助技術東海地区指導会	(名古屋市)
8月	1日	愛知県消防学校 危険物科入校1人	(8/1~8/5)
	4日	高校生職場見学 幸田高等学校	
	6日	第67回愛知県消防操法大会 ポンプ車操法の部	(常滑市)
	6日	第67回愛知県消防操法大会 パブリックビューイング	
		※無観客開催のため (あじさいホール)	
	6日	第67回愛知県消防操法大会 結果報告会 第9位敢闘賞	
	8日	インターンシップ 幸田高等学校3人	
	9日		
	10日		
	9日	愛知県消防学校 少年消防クラブ一日入校 荻谷小学校9人	
	20日	愛知県消防学校 消防団員教育初級幹部科入校2人	(8/20~8/21)

9 月	1 日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	
	2 日	救急救命東京研修所入所 2 人	(9/2~3/13)
	3 日	総合防災訓練 (57機関 422人)	
	10 日	愛知県消防学校 女性消防クラブ 指導者科入校 4 人	
	16 日	消防職員委員会	
	29 日	愛知県消防学校 救助科入校 1 人	(9/29~10/27)
10 月	1 日	消防ひろば (来場者1,142人)	
	8 日	消防団幹部視察研修	
	9 日		
	18 日	高校生職場見学 (幸田高等学校)	
	29 日	危険物安全協会初期消火協議会	
11 月	7 日	愛知県消防学校 火災調査科入校 1 人	(11/7~11/18)
	13 日	防火パレード	
	13 日	消防団出動訓練	
	18 日	隣接消防合同訓練	
	23 日	愛知県外傷・災害対応講習 (Bコース) 受講 1 人	
	29 日	愛知県消防学校 はしご自動車等運用科入校 1 人	(11/29~12/1)
12 月	5 日	愛知県消防学校 警防科入校 1 人	(12/5~12/20)
	6 日	緊急消防援助隊等受援訓練	
	15 日	女性消防クラブ視察研修	
	20 日	西三河地区合同訓練	(西尾市)
	27 日	年末夜警	
	28 日		
1 月	7 日	消防出初め式	
	21 日	文化財防火訓練	
	21 日	愛知県消防学校 消防団員教育 指揮幹部科 現場指揮課程入校 2 人	(1/21~1/22)
	25 日	愛知県消防学校 救急科入校 3 人	(1/25~3/17)
2 月	10 日	西三河地区消防職員意見発表会	
	17 日	消防警察合同訓練	
	23 日	公安系公務員ガイダンス	
	25 日	奈良県安堵町防災フェスタ参加	
3 月	12 日	消防団機械器具引継ぎ	



消防組織編成



消防職員配属状況

R5. 4. 1

職員数 (人)		階級						合計
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
区分		1	8	10	16	15	15	65
消防本部	消防長	1						1
	消防次長兼庶務課長		1					1
	庶務課		2	1	3	2		8
	予防防災課		2	2	1	1		6
	共同通信課			1	1	2		4
消防署	消防次長兼消防署長		1					1
	署日勤		2					2
	警防第1グループ			2	4	3	5	14
	警防第2グループ			2	4	3	5	14
	警防第3グループ			2	3	4	5	14

消防本部（署）階級別人員

R5. 4. 1

消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	合 計 (人)
1	8	10	16	15	15	65

消防職員勤務年数状況

R5. 4. 1

階 級 年 数	司消 令長防	司消 令防	司消 令補防	士消 長防	副消 士長防	消 防士	合 計 (人)	(人)			
								5	10	15	20
～ 1年未満						4	4				
1年以上～ 3年未満		2				7	9				
3年以上～ 5年未満					1	4	5				
5年以上～ 7年未満					6		6				
7年以上～ 9年未満				1	6		7				
9年以上～11年未満				4	2		6				
11年以上～13年未満				5			5				
13年以上～15年未満				2			2				
15年以上～17年未満				2			2				
17年以上～19年未満							0				
19年以上～21年未満				2			2				
21年以上～23年未満							0				
23年以上～25年未満			1				1				
25年以上～27年未満			2				2				
27年以上～29年未満		1	5				6				
29年以上～31年未満		1	2				3				
31年以上～33年未満							0				
33年以上～	1	4					5				
合 計 (人)	1	8	10	16	15	15	65	5	10	15	20

消防職員階級別年齡

R5. 4. 1

階級 職員數(人)	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計(人)	(人)			
	1	8	10	16	15	15	65				
年齡								2	4	6	8
18						2	2				
19						2	2				
20						4	4				
21						2	2				
22						2	2				
23						1	1				
24					3	2	5				
25					3		3				
26							0				
27				1	1		2				
28					3		3				
29				2	2		4				
30					2		2				
31				2	1		3				
32				2			2				
33							0				
34				2			2				
35				2			2				
36				1			1				
37							0				
38				2			2				
39				1			1				
40							0				
41				1			1				
42							0				
43			1				1				
44			2				2				
45			2				2				
46			1				1				
47			1				1				
48			1				1				
49			1				1				
50			1				1				
51		2					2				
52		1					1				
53		1					1				
54							0				
55		2					2				
56							0				
57		1					1				
58							0				
59	1	1					2				
60							0				
61							0				
62							0				
平均	59.0	54.1	46.1	33.8	27.1	20.7	34.0	2	4	6	8

消防職員教養実施状況

R5. 4. 1

職員数(人)		階 級	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)
		教 養 区 分	1	8	10	16	15	15	65
消 防 大 学 校	総合教育	幹 部 科	1	2					3
	専科教育	警 防 科							0
		予 防 科		1	1				2
		救 助 科							0
		救 急 科				1			1
		危 険 物 科				1			1
愛 知 県 消 防 学 校	幹 部 科	初 級			2				2
		中 級		1	1				2
		上 級		1					1
	予 防 科	査 察 課 程		1	1	4	1		7
		危 険 物 課 程		3		2	1		6
		火 災 調 査 課 程		2	2	1	1		6
	救 急 科	標 準 課 程		2	10	14	15	10	51
		Ⅱ 課 程 (岡 崎 市)	1	4					5
		Ⅰ 課 程	1	4					5
	救 助 科	救 助 課 程	1	5	7	5	1		19
水 難 救 助 課 程			1	2				3	
初 任 科	初 任 科	1	6	10	16	15	11	59	
	警 防 科			3	3			6	
	は し ご 自 動 車 等 運 用 科		1	4	3	1		9	
	指 揮 隊 科			2	1			3	
そ の 他	救 急 救 命 士 (東 京)	1	3	6	8	1		19	
	救 急 救 命 士 (九 州)				2			2	
	指 導 救 命 士 (九 州)				1			1	
	感 染 防 止 対 策 強 化 研 修 (九 州)				1			1	

消防職員資格取得状況

R5. 4. 1

種 別		階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)
		職員数(人)		1	8	10	16	15	15	65
運 転 免 許 証	大 型	型	1	5	10	16	15	3	50	
	中 型	型	1	8	10	9	1	29		
	準 中 型	型				5	15	2	22	
	普 通	通						13	13	
	大 型 特 殊	種			1	1	2		4	
	けん引	引				1			1	
	大 型 自 動 二 輪			2	3	5	2	2	14	
	普 通 自 動 二 輪			4	6	7	4	2	23	
救 急 資 格	救 急 救 命 士		1	3	6	11	1	1	23	
	薬 剤 投 与		1	3	6	10			20	
	気 管 挿 管			2	1	4			7	
	処 置 範 囲 拡 大			3	6	7			16	
	標 準 課 程 ・ II 課 程		1	6	10	14	15	10	56	
無 線	陸 上 特 殊 無 線 技 士			5	10	15	15	11	56	
	ア マ チ ュ ア 無 線 技 士		1	4		1			6	
危 険 物 取 扱 者	甲 種								0	
	乙 種			3	2	8	7		20	
消 防 設 備 士	甲 種			1	1		1		3	
	乙 種			6	1	2	2		11	
予 防 技 術 資 格 者	危 険 物			1	2	2	1		6	
	防 火 査 察			2	2	6	1		11	
	消 防 用 設 備 等			1	2	1			4	
防 災 士			1	4	5				10	
自 動 車 整 備 士 (2 級)									0	
潜 水 士 免 許				3	3	5	5	2	18	
船 舶 操 縦 士 免 許			1	5	4	11	6	3	30	
移 動 式 ク レ ーン	免 許			1					1	
	講 習 修 了 証		1	1	7	13	9	3	34	
玉 掛 技 能 講 習 修 了 証			1	2	8	16	15	11	53	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 証			1	2	2	2	1		8	
酸 欠 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者				1	1	1			3	
毒 劇 物 取 扱 者			1						1	
衛 生 管 理 者 (第 1 種)				3	1	1			5	

消防本部（署）車両

R5. 4. 1

自動車種別	呼出名称	自動車番号	メーカー	導入年月	ポンプ 級 別	タンク 容量等
水槽付消防 ポンプ自動車	幸 田 1	岡崎 800 は 80	日 野	H21. 2	A-2	水 2,000 ㍓
消 防 ポンプ自動車	幸 田 3	岡崎 800 さ 2704	い す ゞ	R1. 6	A-2	水 800 ㍓
消 防 ポンプ自動車	幸 田 4	岡崎 800 さ 2982	い す ゞ	R3. 2	A-2	水 700 ㍓
はしご自動車 (30m)	幸 田 3 1	岡崎 830 さ 845	日 野	H24. 2		30m級 先端屈折式
救助工作車	幸 田 4 1	岡崎 800 は 90	日 野	H21. 9		水 120 ㍓
火災調査車	幸 田 5 1	岡崎 800 さ 2613	ト ヨ タ	H30. 11		
指 揮 者	幸 田 5 2	岡崎 800 さ 167	ト ヨ タ	H18. 12		
防 火 パトロール車	幸 田 5 3	三河 880 さ 3187	ト ヨ タ	R4. 3		
連 絡 車	幸 田 5 4	岡崎 500 は 2628	ト ヨ タ	R3. 8		
防 火 パトロール車	幸 田 5 5	岡崎 830 せ 119	ト ヨ タ	H20. 2		
資機材搬送車	幸 田 6 1	岡崎 800 さ 165	ト ヨ タ	H18. 12		
資機材搬送車 (クレーン付き)	幸 田 6 2	三河 800 す 4141	日 野	H16. 11		
資機材搬送車	幸 田 6 3	岡崎 480 え 7232	ダイハツ	R3. 8		
水 槽 車 (小型動力ポンプ付水槽車)	幸 田 7 1	三河 800 は 681	日 野	H17. 3	B-2	水 7,700 ㍓ 薬液 510 ㍓
救急自動車	救急幸田 1	岡崎 830 な 119	ト ヨ タ	H23. 2		
救急自動車	救急幸田 2	岡崎 830 ぬ 119	ト ヨ タ	H30. 1		
救急自動車	救急幸田 3	岡崎 830 さ 99	ト ヨ タ	H26. 2		

消防水利施設

R5. 4. 1

消 防 水 利	総 数
消 火 栓	471
防 火 水 槽	207
プ ー ル	9
私 設 水 槽	60
自 然 水 利	62
合 計	809

予 防 統 計

防火対象物

R5. 4. 1

区 分	防 火 対 象 物	数	
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	0	
	ロ 公会堂又は集会場	32	
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	3	
	ロ 遊技場又はダンスホール	2	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	0	
	ニ カラオケボックス、個室形態の漫画喫茶又はインターネットカフェ若しくはテレホンクラブ、個室ビデオ	1	
3	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	0	
	ロ 飲食店	26	
4	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	80	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	5	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	392	
6	イ	(1)特定診療科名（内科、整形外科等）で一般病床を有するもの	0
		(2)特定診療科名で4人以上の患者を入院させる施設を有するもの	0
		(3)病院（(1)、(2)を除く）又は入所施設を有する助産所	4
		(4)入院施設を有しない診療所又は助産所	19
	ロ	(1)老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム	14
		(2)救護施設	0
		(3)乳児院	0
		(4)障害児入所施設	0
		(5)障害者支援施設	4
	ハ	(1)老人デイサービス、老人福祉センター、老人介護支援センター	21
		(2)更生施設	0
		(3)助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、自動養護施設	24
		(4)児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設	4
		(5)身体障害者福祉センター、障害者支援施設（6項ロ(5)除く）	7
ニ	幼稚園又は特別支援学校	6	
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校その他これらに類するもの	43	
8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	0	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0	
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客の乗降又は待合いの用に供する建築物に限る。）	3	
11	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	40	
12	イ 工場又は作業所	245	
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ	0	
13	イ 自動車車庫又は駐車場	9	
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	
14	倉庫	112	
15	全各項に該当しない事業場	179	
16	イ 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	57	
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	60	
16の2	地下街	0	
16の3	準地下街	0	
17	重要な文化財等と指定された建造物	0	
合 計		1,394	

(延べ面積150㎡以上)

分団別建築申請戸数

R5. 4. 1

種別		分団別				合 計
		第 1 分団	第 2 分団	第 3 分団	第 4 分団	
工 事 別 建 築 申 請 戸 数	新 築	34	83	22	38	177
	増 築	7	3	6	5	21
	改 築	1	1	1		3
	そ の 他	1			2	3
	計	43	87	29	45	204
構 造 別 建 築 申 請 戸 数	木 造	25	76	18	33	152
	鉄 骨 造	16	10	8	11	45
	鉄筋コンク リート造			1	1	2
	鉄骨鉄筋コ ンクリート造					0
	そ の 他	2	1	2		5
	計	43	87	29	45	204

地区別建築申請戸数

R5. 4. 1

分団	第 1 分団					第 2 分団					第 3 分団				第 4 分団				合 計	
	坂 崎	長 嶺	久 保 田	高 力	大 草	相 見	菱 池	横 落	芦 谷	荻	相 見	永 野	野 場	六 栗	須 美	上 六 栗	桐 山	深 溝		逆 川
数	12	5	3	1	20	2	51	10	18	2	6	5	12	7	5	4	3	38	0	204
合計	43					87					29				45					

火災予防条例等関係諸届出件数

R5. 4. 1

諸届出	月別													合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
消 防 訓 練 実 施	15	29	26	14	25	26	39	30	13	6	15	21	259	
禁 止 行 為 解 除 承 認 申 請		1	1	4	1	2		1		2	1	3	16	
防 火 対 象 物 使 用 開 始	3	3		2		1	2	2	3	2	6	5	29	
火 気 使 用 設 備			1		2	2	3	1		1			10	
電 気 設 備	1	4	2	1	5		3		2		1		19	
火 災 と 紛 ら わ し い 行 為	4	10	28	13	6	3	15	24	33	23	19	15	193	
煙 火 の 打 上 げ ・ 仕 掛 け			3	4	3	14	5	1	1		1	2	34	
催 物 開 催													0	
道 路 工 事	3	1	2	4	2	2	5	3	4	7	4	3	40	
露 店 等 の 開 設	1	1		1	1	4	1	1				1	11	
少 量 危 険 物 等 貯 蔵 ・ 取 扱 い ・ 廃 止	3	1			1	1	3	3	2	2	2	1	19	
合 計	30	50	63	43	46	55	76	66	58	43	49	51	630	

危険物施設状況

R5. 4. 1

製造所等の別 区分	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所		一 般 取 扱 所
合 計	0	37	14	2	14	0	7	0	22	0	0	22	118

数 量 別	5倍以下	14	3	2	7		7					7	40
	5倍を超え10倍以下	19	3		5							10	37
	10倍を超え50倍以下	3	5		1				10			3	22
	50倍を超え100倍以下	1	3		1				2			1	8
	100倍を超え150倍以下								2				2
	150倍を超え200倍以下								2			1	3
	200倍を超え1,000倍以下								6				6
	1,000倍を超えるもの												0

類 別	単	第 1 類	1										1	
		第 2 類	1											1
		第 3 類	1											1
		第 4 類	31	14	2	14		7		22			21	111
	独	第 5 類												0
		第 6 類												0
		混 在	3										1	4

危険物関係手数料収入

R5. 4. 1

許可手数料		完成検査 手数料	仮使用	仮貯蔵 仮取扱	完成検査 前検査	合計
設置	変更					
2 件	22 件	26 件	22 件	4 件	0 件	76 件
52,000 円	471,500 円	288,000 円	118,800 円	21,600 円	0 円	951,900 円

危険物承認・届出関係

R5. 4. 1

届出種別	月別												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
保安監督者選解任届	7	1	3	1			3	1		5	3		24
品名・数量変更届													0
廃 止 届			2				3						5
譲 渡 引 渡 届													0
危険作業開始届													0
資 料 提 出		2				1	3	1	1			3	11
そ の 他 の 届 出	5			1	1		1	1					9
合 計	12	3	5	2	1	1	10	3	1	5	3	3	49

幸田町危険物安全協会の沿革

- 昭和 52 年 4 月 8 日 幸田町消防本部の発足に伴い、幸田町危険物安全協会を会員 54 事業所で設立し、同時に愛知県危険物安全協会にも加入する。
- 昭和 60 年 4 月 1 日 額田町を含め額田郡危険物安全協会と名称も改め会員 79 事業所で運営する。
- 平成 10 年 4 月 1 日 消防事務の委託に伴い額田町の会員が岡崎市へ加入する。
- 平成 10 年 5 月 22 日 額田郡危険物安全協会の総会において幸田町危険物安全協会に名称をもどし、消防機関及び会員相互の連絡協調を図るとともに危険物の安全管理に必要な知識技能の普及並びに危険物に起因する災害防止に努めている。

幸田町危険物安全協会業態別会員数

R5. 4. 1

区 分	事 業 所 数
鉱 業	1
製 造 所	32
卸 売 業、小 売 業	14
運 輸 業	7
サ ー ビ ス 業	10
公 務	1
合 計	65

自主防災組織・各クラブ人員

自主防災組織（防災会）

R5. 4. 1

組織数	人員（人）
23 区	16,597

幼年消防クラブ員

R5. 4. 1

園数	人員（人）
保育園 9 か所	608
幼稚園 3 か所	375
合計	983

少年消防クラブ員

R5. 4. 1

学校数	人員（人）
小学校 6 校	994
中学校 3 校	462
合計	1,456

女性消防クラブ員

R5. 4. 1

組織数	人員（人）
23 区	28

通信・気象統計

月別災害受信件数

救急	NTT 119	携帯 119	IP	一般加入	駆け込み	その他	合計
1月	34	61	66	2	1		164
2月	21	59	48	1	3		132
3月	16	61	52		2	1	132
4月	17	47	47		1	2	113
5月	17	62	58	1			138
6月	26	79	44	2	3	1	155
7月	31	78	55	3	2	1	170
8月	18	85	56	1	5	1	166
9月	18	67	55	3		1	144
10月	16	78	69	2	1		166
11月	24	68	46	2	3		143
12月	17	69	62	4	2		154
合計	255	813	658	21	23	7	1,777

	NTT 119	携帯 119	IP	一般加入	駆け込み	その他	合計
全合計	264	883	664	30	24	14	1,879
%	14.1%	47.0%	35.3%	1.6%	1.3%	0.7%	100.0%

年別災害受信件数

全災害		NTT 119	携帯 119	IP	一般加入	駆け込み	その他	合計(件)
	平成30年	330	763	699	24	37	25	1,878
	令和元年	296	779	770	12	44	16	1,917
	2年	256	781	700	13	43	13	1,806
	3年	184	776	635	15	33	3	1,646
	4年	264	883	664	30	24	14	1,879

全災害割合		NTT 119	携帯 119	IP	一般加入	駆け込み	その他	合計(%)
	平成30年	17.5	40.6	37.2	1.2	1.9	1.3	100
	令和元年	15.4	40.6	40.2	0.6	2.3	0.8	100
	2年	14.2	43.2	38.8	0.7	2.4	0.7	100
	3年	11.2	47.1	38.6	0.9	2.0	0.2	100
	4年	14.1	47.0	35.3	1.6	1.3	0.7	100

救急割合		NTT 119	携帯 119	IP	一般加入	駆け込み	その他	合計(%)
	平成30年	17.6	40.3	38.2	0.6	2.2	0.8	100
	令和元年	15.8	39.4	41.4	0.2	2.7	0.4	100
	2年	13.9	42.9	39.5	0.4	2.8	0.4	100
	3年	11.2	45.8	40.2	0.5	2.0	0.2	100
	4年	14.4	45.8	37.0	1.2	1.3	0.4	100

月別気象統計

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
風速 (m/s)	平均	2.9	2.9	2.7	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.3	1.4	1.7	2.7	2.3
	最高	10.5	11.1	11.9	9.5	11.0	8.9	7.9	7.1	10.7	8.9	9.0	10.4	9.7
	瞬間最大	21.8	22.0	23.5	22.6	23.9	21.2	14.4	13.4	21.5	13.4	18.5	18.5	19.6
湿度 (%)	平均	64.7	63.8	62.9	71.9	69.7	77.4	82.3	80.5	81.0	75.2	76.2	68.1	72.8
	最高	96.3	96.6	97.5	98.0	98.0	98.3	98.3	98.6	99.4	99.4	99.4	97.5	98.1
	最低	25.8	26.1	17.5	11.9	20.2	25.5	38.0	34.7	37.2	22.2	21.9	22.5	25.3
気温 (°C)	平均	3.6	4.2	10.6	16.2	19.0	23.6	27.2	28.5	25.8	17.9	13.9	6.3	16.4
	最高	13.7	14.5	22.0	27.3	32.1	36.9	36.6	36.6	33.6	30.1	23.7	16.2	26.9
	最低	-3.7	-2.3	-1.1	4.9	7.0	13.6	21.2	21.7	16.9	5.0	3.9	-2.8	7.0

月別降雨量統計 (ミリメートル)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
降雨日数		6	5	8	12	14	11	16	14	17	5	8	4	120
月総雨量		28.5	34.0	110.5	137.5	233.5	98.0	385.5	155.5	347.0	30.5	104.0	23.5	1,688.0
日最高雨量		12.5	14.0	44.0	33.0	69.0	30.0	65.0	29.5	182.0	12.5	35.0	14.0	
時間最大雨量		5.5	3.0	14.0	8.5	35.0	17.0	55.5	20.5	51.0	8.0	11.0	7.5	

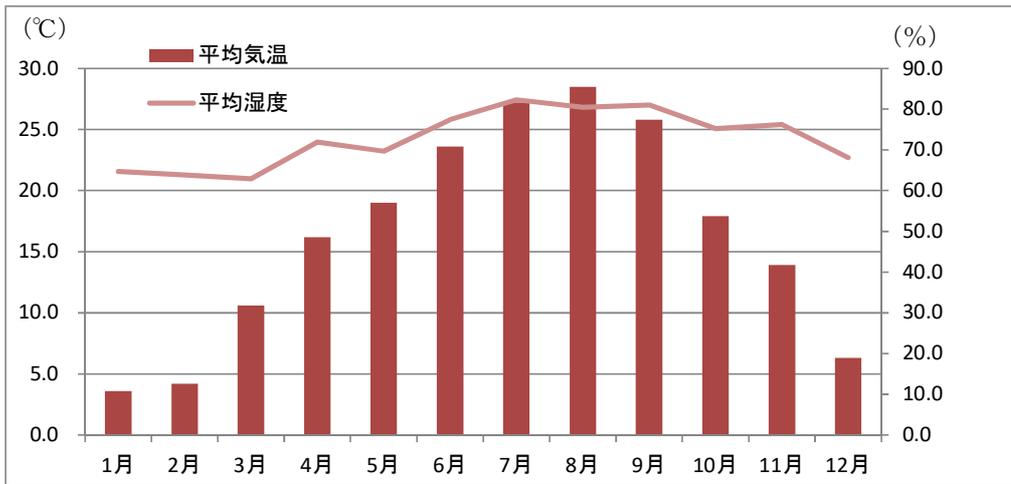
月別風速 (日平均)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
風速m/sec	0.0 ~ 0.2													0
	0.3 ~ 1.5	5	7	8	8	10	7	7	10	16	21	19	5	123
	1.6 ~ 3.3	15	10	12	15	16	19	22	20	8	9	7	16	169
	3.4 ~ 5.4	10	10	9	7	5	4	2	1	4	1	4	10	67
	5.5 ~ 7.9	1	1	2						1				5
	8.0 ~ 10.7									1				1
計		31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

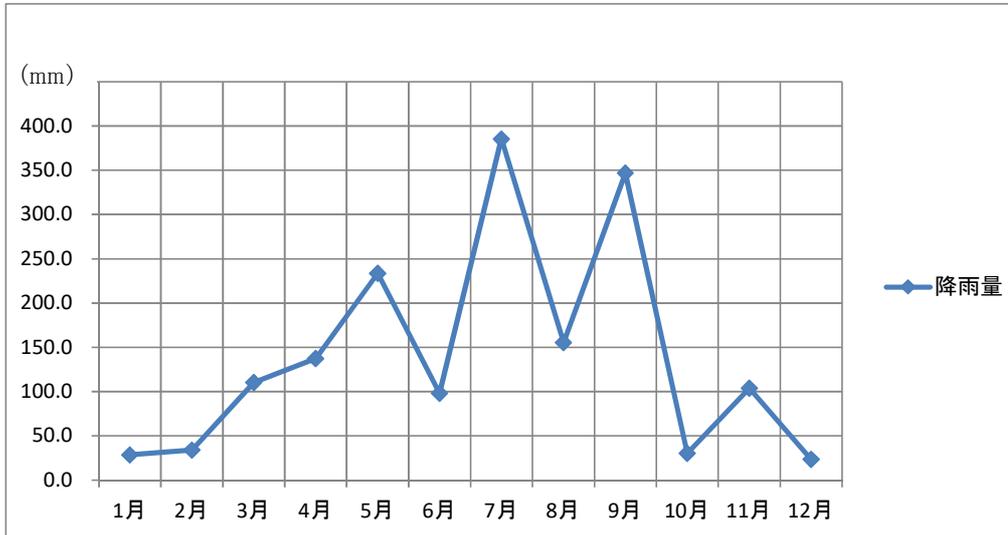
月別風向 (%)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
北		4.6	4.5	4.2	3.3	1.7	2.0	1.3	1.9	1.5	4.3	5.5	6.6	3.5
北北東		1.4	1.2	1.1	1.0	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	1.2	1.7	1.5	1.0
北東		0.4	0.2	0.4	0.4	0.3	0.6	0.7	0.6	0.5	0.8	0.6	0.7	0.5
東北東		0.1	0.1	0.6	0.5	0.4	0.9	0.6	0.8	0.7	0.6	0.6	0.2	0.5
東		0.1	0.2	0.5	0.7	1.6	3.6	1.5	1.1	3.6	0.3	0.7	0.4	1.2
東南東		0.2	0.4	3.4	4.3	8.0	7.3	9.3	7.6	12.8	2.1	1.4	0.7	4.8
南東		1.0	1.3	5.0	14.3	14.2	21.8	29.1	26.6	17.4	5.7	4.1	0.7	11.8
南南東		1.0	0.7	3.2	9.4	9.0	13.1	14.8	9.9	9.6	5.3	2.6	0.8	6.6
南		0.3	0.4	2.0	3.8	2.8	5.2	5.2	5.2	5.1	2.6	1.8	0.5	2.9
南南西		0.2	0.2	0.7	1.1	1.0	1.9	1.6	2.2	2.0	1.4	0.7	0.2	1.1
南西		0.2	0.6	0.8	1.6	1.0	1.5	1.7	3.0	1.4	1.7	0.8	0.5	1.2
西南西		0.6	1.5	1.5	2.8	2.2	1.8	2.3	2.4	1.5	1.3	1.2	2.0	1.8
西		2.9	4.8	3.7	3.6	4.3	3.3	3.1	3.2	2.9	2.5	2.4	4.6	3.4
西北西		10.8	16.9	13.0	5.8	9.1	6.1	5.6	6.0	6.9	5.9	6.7	8.6	8.5
北西		39.3	38.0	27.8	16.2	15.8	8.2	4.5	9.4	8.9	18.7	22.2	34.8	20.3
北北西		19.7	15.1	14.9	13.1	8.0	6.1	2.7	5.7	5.1	14.9	16.9	20.7	11.9
静穏		17.2	13.9	17.2	18.1	20.0	16.0	15.2	13.7	19.4	30.7	30.1	16.5	19.0

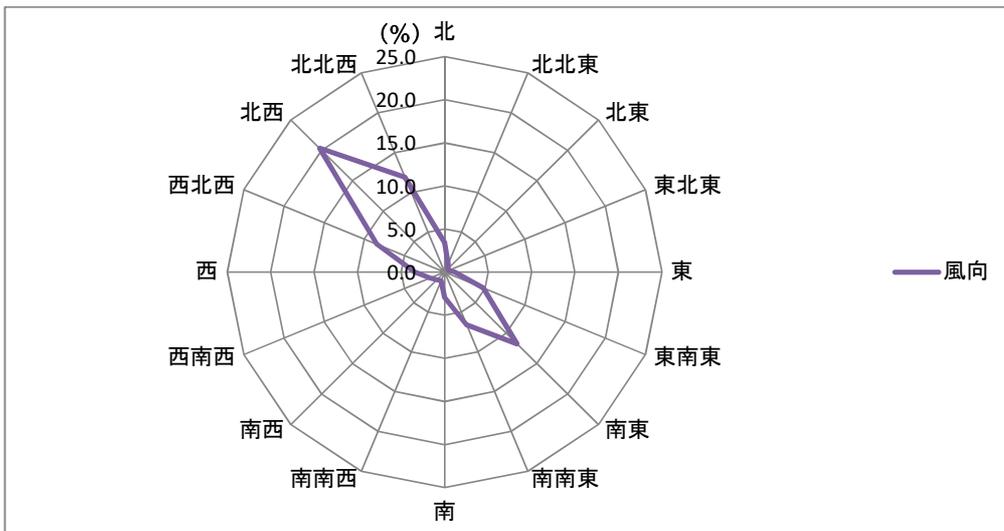
月別平均気温・湿度



月別降雨量



風向



火災統計

火 災

令和4年中における火災発生状況等は、出火件数11件、建物焼損面積3,169㎡、損害額169,161千円、死者0人、負傷者1人であった。



火災概要（前年比較）

		単 位	令 和 4 年	令 和 3 年	増 減 数
出 火 件 数	合 計	件	11	8	3
	建 物	件	3	2	1
	林 野	件	1	3	▲ 2
	車 両	件	2	0	2
	そ の 他	件	5	3	2
建物焼損面積		㎡	3,169	23	3,146
林野焼損面積		a	7	4	3
建物焼損棟数		棟	24	2	22
損 害 額		千円	169,161	2,742	166,419
り 災 世 帯		世帯	11	2	9
り 災 者 数		人	21	4	17
死 者		人	0	0	0
負 傷 者		人	1	0	1
出 火 率		件／万人	2.6	1.9	0.7

▲は減を示す

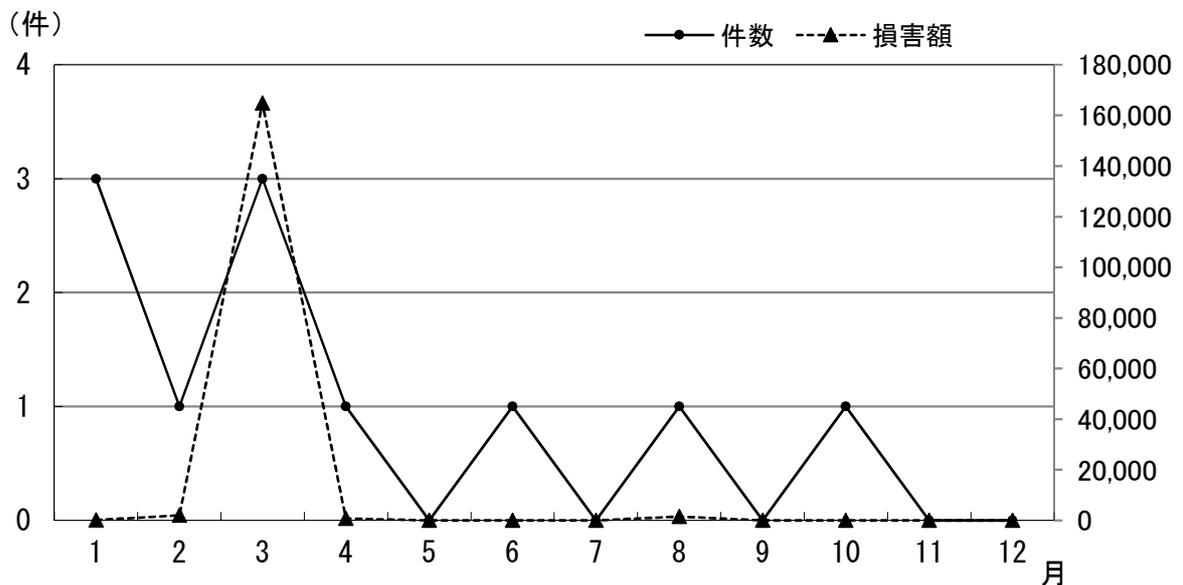
火災1件当たりの概要

種 別 \ 項 目	単 位	令 和 4 年	令 和 3 年	増 減 数
建物焼損面積	㎡	1,056	12	1,044
林野焼損面積	a	7	1	6
損害額(全火災)	千円	15,378	343	15,035
損害額(建物火災)	千円	56,105	1,361	54,744
損害額(林野火災)	千円	0	0	0

▲は減を示す

月別火災件数損害額

月 別 \ 項 目	件 数	損 害 額 (千 円)
1	3	145
2	1	2000
3	3	164776
4	1	700
5		
6	1	
7		
8	1	1540
9		
10	1	
11		
12		
合 計	11	169,161



時間別・火災件数

時間帯 件数	0~2	~4	~6	~8	~10	~12	~14	~16	~18	~20	~22	~24	合計
	0	0	0	0	1	2	1	3	2	1	0	1	11

火災の出火原因

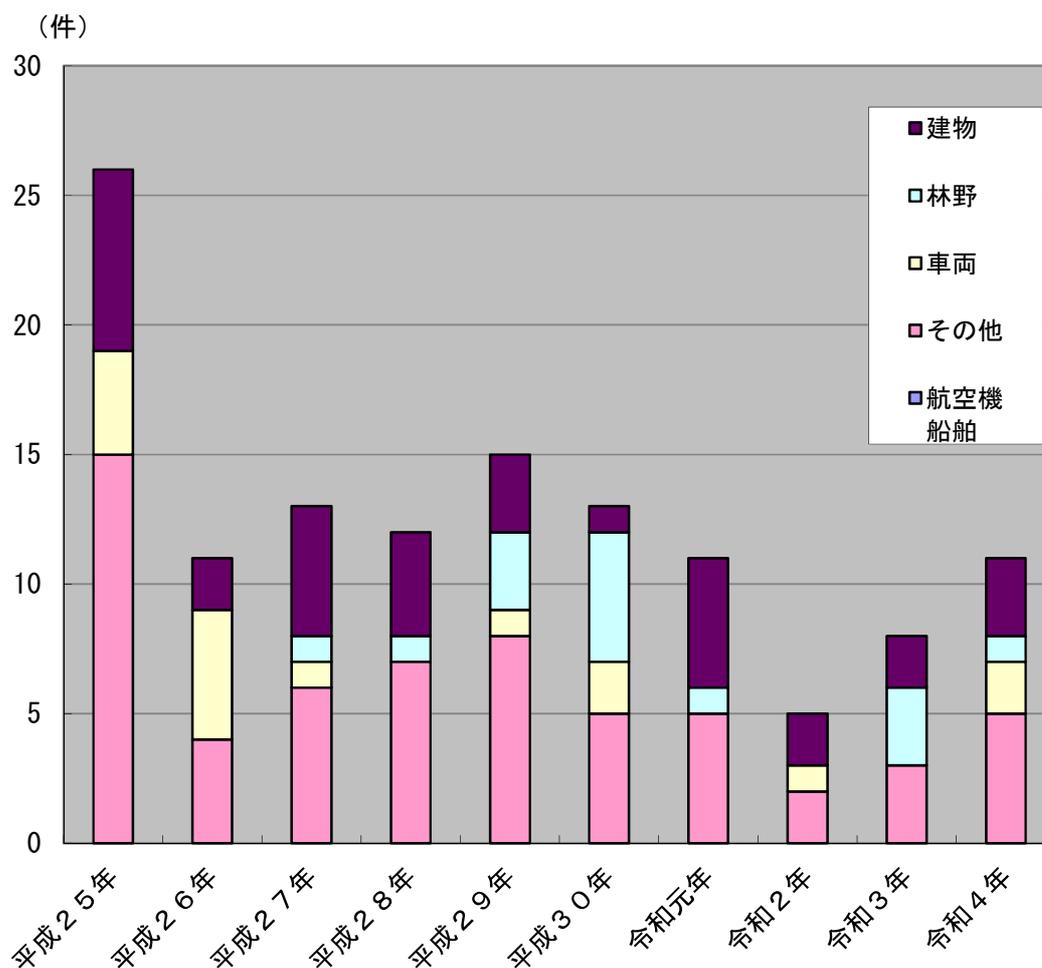
原因別	令和4年	10年間統計 (平成25~令和4年)
たき火		12
たばこ		9
こんど		2
かまど		
風呂かまど		
炉		
焼却炉	1	6
ストーブ		2
こたつ		
ボイラー		
煙突・煙道		1
排気管		
電気機器	1	5
電気装置		1
電灯・電話の配線		1
内燃機関		
配線器具		1
火遊び		
マッチ・ライター		3
溶接機・切断機		
灯		1
衝突の火花		2
取灰		2
火入れ	4	18
放火・放火疑い		35
その他	2	18
不明・調査中	3	6
合計 (件)	11	125

火災記録

No	種別	月日	場所	焼損面積			損害額 (千円)
				建物 (㎡)	林野 (a)	その他 (㎡)	
1	車両	1月4日	大草寺西地内				97
2	その他	1月29日	坂崎字鐘場地内			30	0
3	その他	1月30日	須美字石原地内			128	48
4	建物	2月2日	永野字外山地内				2,000
5	林野	3月17日	深溝字稲葉山地内		7		0
6	建物	3月27日	芦谷字幸田地内	3,155			164,776
7	その他	3月29日	坂崎字楠地内			391	0
8	車両	4月11日	深溝字海谷地内				700
9	その他	6月10日	荻字池下地内			1,654	0
10	建物	8月19日	高力字熊谷地内	15			1,540
11	その他	10月20日	坂崎字雀ヶ入地内				0

最近10年間における年別出場件数

種別 年別	建 物	林 野	車 両	そ の 他	船航 空 機	合 計 (件)
平成25年	7		4	15		26
平成26年	2		5	4		11
平成27年	5	1	1	6		13
平成28年	4	1		7		12
平成29年	3	3	1	8		15
平成30年	1	5	2	5		13
令和元年	5	1		5		11
令和2年	2		1	2		5
令和3年	2	3		3		8
令和4年	3	1	2	5		11
10年統計数	34	15	16	60	0	125



救急・救助統計

救 急

令和4年中における救急出場件数は1,798件で、前年と比較すると288件増加した。
 搬送人員は1,670人で、前年と比較すると158人増加した。
 また1日の平均出場回数は4.9回であり、町民25.3人に1人の割合で搬送したことになる。

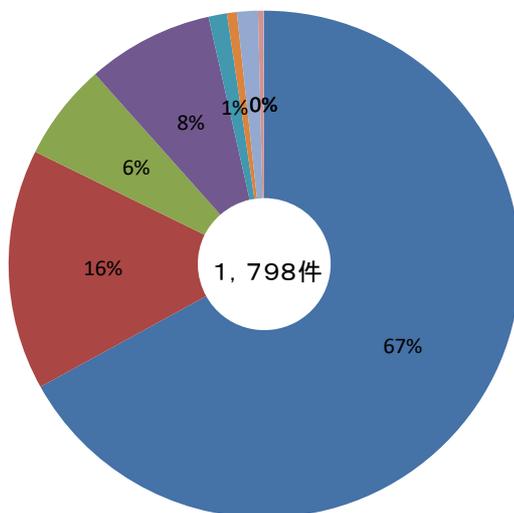


事故別出場件数及び搬送人員(前年比較)

区分	種別 年別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	(件・人)
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	他	
出 場 件 数	令和4年	1			111	24	11	276	6	21	1204	144	1,798
	令和3年				101	27	15	251	6	19	1027	124	1,570
	増減数(件)	1			10	▲ 3	▲ 4	25		2	177	20	228
搬 送 人 員	令和4年	1			112	23	11	259	2	9	1134	119	1,670
	令和3年				108	27	15	243	7	14	987	111	1,512
	増減数(人)	1			4	▲ 4	▲ 4	16	▲ 5	▲ 5	147	8	158

▲は減を示す

- 急病 (1204件)
- 一般負傷 (276件)
- 交通事故 (101件)
- その他 (144件)
- 自損行為 (21件)
- 運動競技 (11件)
- 労働災害 (24件)
- 加害 (6件)
- 水難事故 (0件)
- 火災 (1件)



月別出場件数(上段)及び搬送人員(下段)

種別 月別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	(件・人) 合計
1				6	2		27		3	114	10	162
2				6		1	20			98	6	131
3	1			13			26		1	78	10	129
4				10	2	1	24	1		66	11	115
5				11	3	2	24			98	7	145
6				12	8	1	23		1	92	19	156
7				12	3	2	22		2	128	8	177
8				5	1	2	21	1	2	124	10	166
9				7	2	1	19	1	6	101	13	150
10				10		1	21		2	101	29	164
11				12	1		21	1	3	96	9	143
12				7	2		28	2	1	108	12	160
合計(件)	1			111	24	11	276	6	21	1,204	144	1,798

1				6	2		25		2	109	7	151
2				8		1	18			91	6	124
3	1			12			24		1	73	8	119
4				11	2	1	23	1		63	9	110
5				10	3	2	24			93	5	137
6				12	7	1	22		1	87	18	148
7				14	3	2	19		1	119	5	163
8				3	1	2	20		1	116	8	151
9				6	2	1	18		2	94	10	133
10				9		1	19			94	28	151
11				12	1		21		1	93	9	137
12				9	2		26	1		102	6	146
合計(人)	1			112	23	11	259	2	9	1,134	119	1,670

時間帯別出場件数(上段)及び搬送人員(下段)

時間帯別	種別	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	その 他	(件・ 計人)
0～2					4			8		2	63		77
2～4					4			8			58	1	71
4～6					3			6			62	3	74
6～8					14	2		28		3	121	1	169
8～10					14	1		36			135	8	194
10～12					11	8	4	37	1	4	128	42	235
12～14					13	1	1	32		6	132	26	211
14～16					12	4	3	23	1		120	18	181
16～18		1			10	4	2	38	1	3	108	23	190
18～20					14	2		34	1	2	111	15	179
20～22					5	1	1	19	1		92	4	123
22～24					7	1		7	1	1	74	3	94
合計(件)		1			111	24	11	276	6	21	1,204	144	1,798
0～2					4			6		1	59		70
2～4					4			8			57		69
4～6					2			6			59		67
6～8					12	2		24		1	111		150
8～10					13	1		34			131	8	187
10～12					11	7	4	37		2	114	37	212
12～14					14	1	1	31		3	126	24	200
14～16					16	4	3	22	1		115	14	175
16～18		1			9	4	2	35			102	18	171
18～20					14	2		33	1	1	104	15	170
20～22					7	1	1	18			86	3	116
22～24					6	1		5		1	70		83
合計(人)		1			112	23	11	259	2	9	1,134	119	1,670

曜日別出場件数

種別 曜日別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計(件)
	月				11	2		38	3	6	184	24
火				20	4		42	2	6	164	31	269
水				21	6	1	39		1	157	21	246
木				15	3	1	37		4	185	20	265
金				14	5	3	35			162	23	242
土				15	3	3	34	1	3	178	15	252
日	1			15	1	3	51		1	174	10	256
合計(件)	1			111	24	11	276	6	21	1,204	144	1,798

年齢区分別（上段）及び傷病程度別（下段）搬送人員

年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計(人)
搬送人員	1	113	62	496	998	1,670
傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
搬送人員	37	293	353	987		

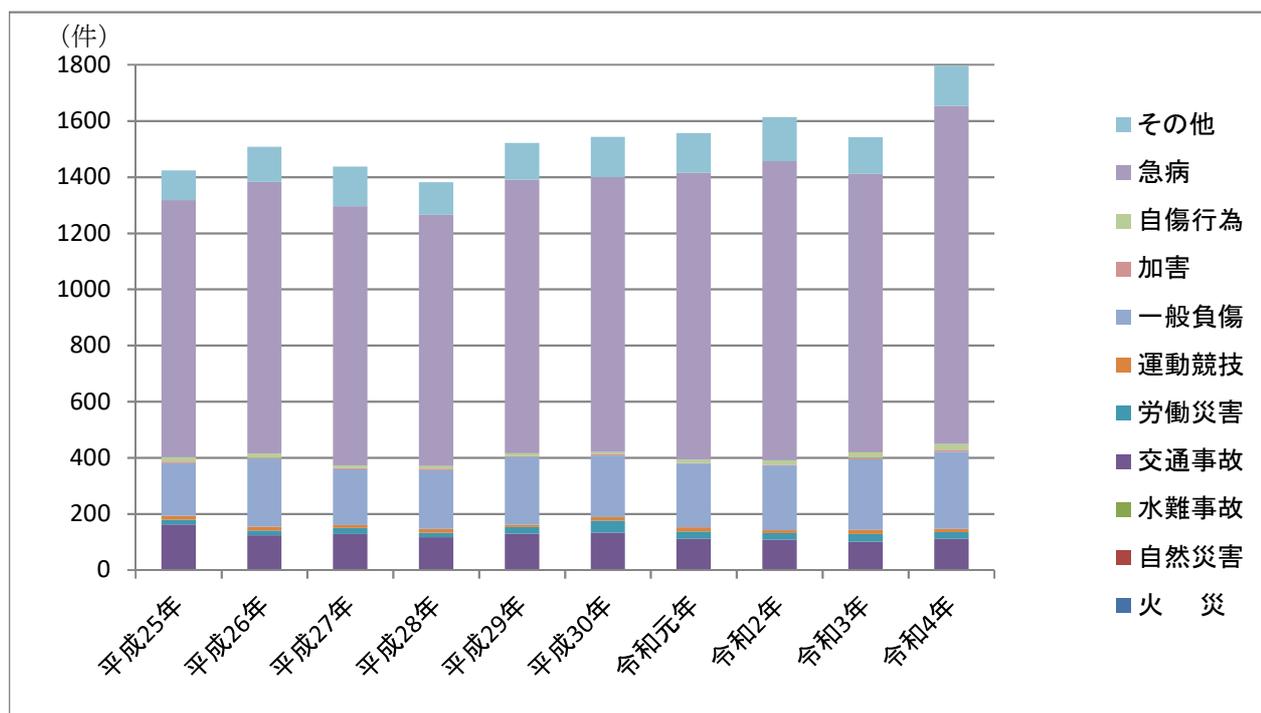
地域別出場件数

種別 地域別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計(件)
	第1分団	坂崎			6	1	1	18		5	93	56
長嶺				3		1	6			16		26
久保田				1			3			14	3	21
高力						2	10		1	38	6	57
大草					17	5	1	36		1	144	8
第2分団	相見			2			2			12	10	26
	菱池			14	4	2	73	2	4	261	15	375
	横落			3	1		11		1	50	5	71
	芦谷	1		17	3		23	1	1	114	21	181
第3分団	荻			3			5	1	1	18		28
	相見			2	1		11			56	4	74
	永野						1			5		6
	野場			6	1	3	13		1	80		104
第4分団	六栗			1	4		12			50	1	68
	須美			5			3			13		21
	上六栗			6	1		3			17	2	29
管外	桐山			5			2			11		18
	深溝			19	3	1	40	2	5	203	13	286
	逆川			1			4		1	9		15
管外											0	
合計(件)	1			111	24	11	276	6	21	1,204	144	1,798

最近10年間における年別出場件数及び搬送人員

種 別 年 別	火 災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	(件・人) 合 計
平成25年	1 (1)			162 (157)	16 (16)	14 (15)	188 (185)	5 (5)	16 (7)	967 (925)	126 (117)	1,495 (1,428)
平成26年			1 (0)	123 (127)	17 (17)	14 (14)	242 (232)	2 (2)	16 (10)	923 (871)	141 (133)	1,479 (1,406)
平成27年	1 (0)		1 (0)	126 (125)	22 (22)	10 (10)	199 (193)	5 (5)	9 (6)	895 (848)	115 (98)	1,383 (1,307)
平成28年			1 (1)	116 (117)	16 (16)	13 (13)	210 (197)	5 (5)	10 (6)	974 (939)	131 (107)	1,476 (1,401)
平成29年	1 (1)		1 (2)	127 (133)	24 (23)	8 (8)	243 (231)	2 (2)	10 (8)	979 (935)	143 (127)	1,538 (1,470)
平成30年		1 (1)		132 (130)	43 (43)	13 (12)	219 (209)	5 (3)	8 (6)	1,023 (966)	140 (131)	1,584 (1,501)
令和元年				111 (110)	26 (26)	15 (14)	228 (209)	1 (0)	12 (4)	1,065 (1,009)	157 (145)	1,615 (1,517)
令和2年	2 (2)			106 (102)	24 (23)	10 (10)	231 (214)	2 (2)	16 (11)	992 (919)	131 (121)	1,514 (1,404)
令和3年				101 (108)	27 (27)	15 (15)	251 (243)	6 (7)	19 (14)	1,027 (987)	124 (111)	1,570 (1,512)
令和4年	1 (1)			111 (112)	24 (23)	11 (11)	276 (259)	6 (2)	21 (9)	1,204 (1,134)	144 (119)	1,798 (1,670)

()は搬送人員



救 助

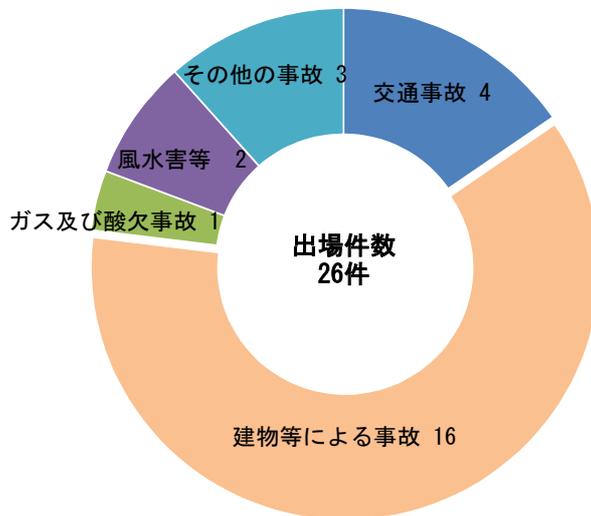
令和4年中における救助出場件数は26件で、前年と比較すると3件増加した。
 救助人員は18人で、前年と比較すると3人減少した。



事故別出場件数及び救助人員（前年比較）

区分	種別 年別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	よ 機 械 の 事 故 に よ る 事 故 に	よ 建 物 等 に よ る 事 故 に	酸 ガ ス 事 故 及 び	破 裂 事 故	の そ の 他	合 計 （ 件 ・ 人）
		建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数	令和4年			4		2			16	1		3	26
	令和3年			7					10	2		4	23
	増減数(件)			▲ 3		2			6	▲ 1		▲ 1	3
救 助 人 員	令和4年			4		2			9			3	18
	令和3年			9					7	2		3	21
	増減数(件)			▲ 5		2			2	▲ 2			▲ 3

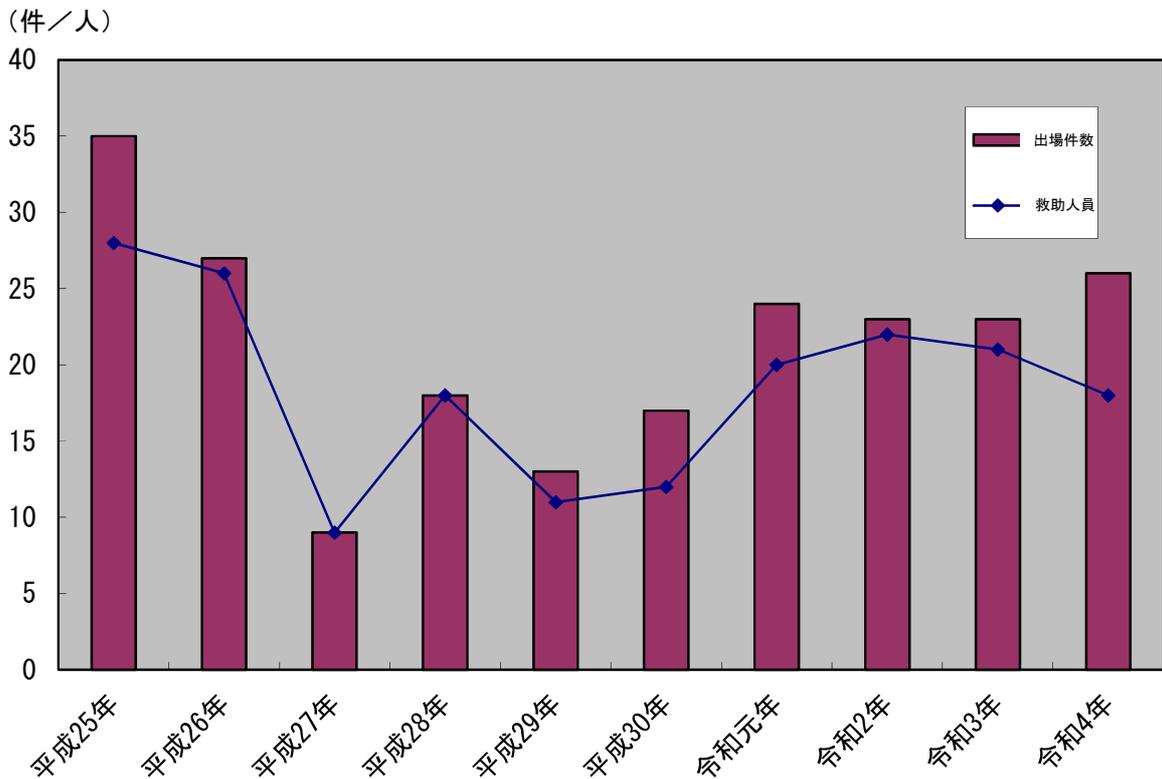
▲は減を示す



最近10年間における年別出場件数及び救助人員

種 別 年 別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 水 災 害 等	よ 機 械 の 事 故 に	よ 建 物 事 等 故 に	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	の そ の 他	(件・人) 合 計
	建 物	建 物 以 外									
平成25年			24 (18)			1 (1)	2 (3)	1 (1)		7 (5)	35 (28)
平成26年			14 (18)	1 (0)		1 (1)	5 (4)			6 (3)	27 (26)
平成27年			4 (4)	1 (1)	1 (1)		2 (2)			1 (1)	9 (9)
平成28年			7 (6)	1 (1)			7 (7)			3 (4)	18 (18)
平成29年			5 (5)			1 (1)	6 (4)			1 (1)	13 (11)
平成30年			12 (9)				5 (3)				17 (12)
令和元年			10 (10)			1 (1)	8 (5)			5 (4)	24 (20)
令和2年			14 (14)				7 (7)	1 (1)		1 (0)	23 (22)
令和3年			7 (9)				10 (7)	2 (2)		4 (3)	23 (21)
令和4年			4 (4)		2 (2)		16 (9)	1 (0)		3 (3)	26 (18)

() は救助人員



消防団

消防団現勢

R5. 4. 1

本部・分団名		階級別							合計 (人)
		団長	副団長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	
本 団		1	1						2
第1分団	第 1 部				1	1	2	14	18
	第 2 部			1		2	1	13	17
第2分団	第 1 部				1	2	2	15	20
	第 2 部			1		1	1	17	20
第3分団	第 1 部				1	2	1	14	18
	第 2 部			1		1	2	13	17
第4分団	第 1 部			1		2	2	13	18
	第 2 部				1	1	1	14	17
合 計 (人)		1	1	4	4	12	12	113	147

消防団員階級別年齢

R5. 4. 1

年齢別		階級別							合計 (人)
		団長	副団長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	
45歳以上		1	1					3	5
45歳未満 40歳以上					1		1	5	7
40歳未満 35歳以上							2	12	14
35歳未満 30歳以上					1		2	27	30
30歳未満 25歳以上				4	2	10	6	35	57
25歳未満 20歳以上						2	1	30	33
20歳未満 18歳以上								1	1
合 計 (人)		1	1	4	4	12	12	113	147

消防団員在籍年数

R5. 4. 1

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計 (人)
89	58				147

業態別消防団員構成

R5. 4. 1

職業構成別	公務員		特殊法人等 公務員に 準ずる職員	その他	合計 (人)
	国家公務員	地方公務員			
		36	5	106	147

就業形態別	被用者	自営業者	家族従業者	その他	合計 (人)
		88	7	6	46



消防団車両

R5. 4. 1

所属 区分	第 1 分 団		第 2 分 団		第 3 分 団		第 4 分 団	
	1 部	2 部	1 部	2 部	1 部	2 部	1 部	2 部
種 別	ポンプ車	積載車	ポンプ車	積載車	ポンプ車	積載車	ポンプ車	積載車
自 動 車 登録番号	岡崎800 さ23 - 12	三河800 す58 - 30	三河800 す45 - 02	岡崎800 さ225	岡崎800 さ31 - 71	岡崎800 さ226	三河800 す31 - 69	岡崎800 す58 - 31
級 別	A - 2 級	B - 3 級	A - 2 級	B - 3 級	A - 2 級	B - 3 級	A - 2 級	B - 3 級
購入先	小川ポン プ工業(株)	山 佐 産 工 (株)	(株)モリタ ポンプ	愛知自 動 車 (株)	小川ポン プ工業(株)	愛知自 動 車 (株)	小川ポン プ工業(株)	山 佐 産 工 (株)
メーカー	トヨタ	トヨタ	日 野	トヨタ	いすゞ	トヨタ	トヨタ	トヨタ
エンジン 総排気量 (cc)	ディーゼル 4,000	ガソリン 1,990	ディーゼル 4,000	ガソリン 1,990	ディーゼル 2,990	ガソリン 1,990	ディーゼル 4,890	ガソリン 1,990
ポンプ 駆動方式	2 段 バランス タービン	1 段 バランス タービン						
購入年月	H29. 1	H18. 2	H17. 3	H19. 2	R4. 2	H19. 2	H16. 3	H18. 2

令和5年度 全国統一防火標語

「火を消して
不安を消して
つなぐ未来」



令和4年度消防年報

令和5年 7月

編 集 発 行	幸田町消防本部
郵 便 番 号	4 4 4 - 0 1 1 3
所 在 地	愛知県額田郡幸田町大字菱池字前田41番地 1
T E L	(0 5 6 4) 6 3 - 0 1 1 9 (代表)
F A X	(0 5 6 4) 6 3 - 1 1 1 9